

日本山岳会 越後支部報

第 25 号

令和元年6月20日

発行 公益社団法人日本山岳会越後支部

発行者 桐生 恒治

新潟県見附市学校町1-9-19

TEL・FAX 0258-62-0148

広報委員長 佐久間 雅義

私の一枚

妙高の朝焼け

1996年峡彩山岳会正月合宿の一枚です。前日、妙高山の前山で幕営し日本海や上越地域の街並みのあかりも見え冬山らしくない天候でしたが、翌日の午後より荒天が予想されて翌朝暗い内から山頂アタックをかけ、光善池周辺からの感動した朝焼けの妙高山です。山頂から素晴らしい360度展望が見え、下山後は大荒れで山の素晴らしさと厳しさを知った山行でした。

撮影 小山 一夫



令和時代に向けた越後支部の方向性

支部長 桐生 恒治

5月25日越後支部総会で第10代の支部長指名を受けました。令和の新時代に向けた越後支部の方向性を示して、支部会員皆様のご支援とご協力をお願いしたいと思います。私は、1973年入会（会員No.767

5）、本部で活動後1985年越後支部編入、2011年山崎支部長下で事務局長として公益法人移行時の会務に携わり、20

13年橋本支部長にも事務局長で仕え支部会員との交流拡大、2015年から遠藤支部長下で副支部長として支部活性化に注力して来ました。遠藤支部長は、支部70周年記念事業「日本三百名山越後支部執筆21座踏破計画」や、全国支部懇談会の越後支部弥彦山開催等の重要案件を成功させ、支部会員を結束させた指導力に敬服し、そのご苦勞に感謝致します。

現在の越後支部会員数は190名弱ですが、公益法人化に伴う支部組織の変更と改革が進み、支部行事も非常に活発化して来ました。事業委員会は公募登山等の公益事業、集会委員会は高頭祭や支部会員向け山行企画等の共益事業、広報委員会は支部報発

行やHP等会員サービスの充実、自然保護委員会は糸魚川ジオパーク子供登山教室の企画や環境保護の取組み、県山協委員会は県山協連携行事での支部会員窓口、総務委員会は事務局長を中心に役員会・総会・年次晚餐会等を担当しています。今後も魅力ある各種企画や新規計画を含めて情報発信して行きます。

図書委員会は、藤島蔵書の整理・管理が終了し、所期の目的を達成し解散することになりました。今まで藤島蔵書の業務に携わってきた高辻委員長始め、多くの支部会員のご協力に感謝申し上げます。今後は若手会員の勧誘・加入と育成に主軸を移しますが、その目的達成のためYOUTH委員会を新設します。伝統と実績ある越後支部ですが、昨年度の支部会員平均年齢74歳と古参会員が多く、次世代を担う若手会員の勧誘・加入・育成が喫緊の課題となっております。難しい問題で妙案もなく効果や実績が見えませんが、具体的にアクションを起こす準備しております。

例年の越後支部行事は、5月第4土・日

の支部総会と親睦登山、7月25日の高頭祭、12月第2土の年次晩餐会等、従来通りの慣習で実施して行きます。その他にも多くの新企画事業を提案して行きますので、今までもお会いできなかった支部会員の皆様も「全員参加の支部活動」を合言葉に、一度支部行事に参加して仲間入りしていただきたいと願っております。

越後支部の良き伝統を建設的に発展させ、新規事業の積極的提案をして行きます。温故知新（先人の故き知恵に温び、新しき事柄を発想する）をモットーに、支部運営にあたります。

藤島玄先生からの便り

高橋 庄一

7月のある朝、胸の苦しさと目覚め、ニト口を服用するも収まらず、効果もない。いつもと違う、我が人生の終焉かと思いい、ワイフに今日の予定のキャンセルとタクシーの手配を頼む。即入院となり17日間の病院暮らしを経て、我が家へと生還したが、予想以上にダメージを受けており、歩き始めた赤ちゃん同然で伝い歩きから始める。東京から駆けつけた倅に「綺麗に人生を終わらせる為に身の整理をするように」

と言われ、70年来つづけたカメラから整理しよう、と、カラーボックスに積み上げたカメラ関連の道具箱から整理を始めた。

上から二番目の箱から玄さんより頂戴したマグネシウムが発光器が出てきた。マグネシウムに点火すると明るい光と大量の煙が発生する。現在、室内でこのストロボを使ったら火災報知機が作動し、消防車が駆けつけるのは確実であろう。

マグネシウムは無いし、室内で使用不能な玄さんからのストロボは夢幻で終わってしまったが、箱の奥から赤茶けたB5の封筒が出てきた。

上野の国立科学博物館の佐竹義輔博士が、玄さん宛てに出されたものである。カメラの道具箱の奥に押し込んで、忘れていたのである。これぞまさしく玄さんが、あの世から小生宛に出した便りが届いたものと思っっている。

何かの折に「三十年の間、葉書の一枚、電話の一本もよこされない」とばやいた返事がこの封筒。佐竹博士が玄さんと飯豊に登られたのは、昭和23年8月で、文平の池で真の野宿には博士も度肝を抜かれたらしく、博士の随筆集「花のある風景」に玄さんとの関係や野宿のことが詳しく述べてある。恐る恐る封筒より中身を引き出す、一番

上から出てきたのは、胎内新道開道一番乗りの玄先生の記録であった。この山行には、小生も参加した。大鍋の泊まり場、ギルダ原等の地名の生まれた山行であった。封筒の内容を列記すると次の通りである。

- 胎内新道発行記録
- 高山植物小目録（専用原稿用紙25×30）
- ネマガリダケとチシマザザの違いと苗場山植物小目録（博士の玄さん宛書簡）
- 朝日連峰高山植物の記録
- 飯豊山植物小目録（弥平四郎コース）
- JACより山小屋調査アンケート依頼
- 尾崎富衛先生提供の文献別植物小目録と飯豊山植物小目録
- 初秋随想「苗場山を懐ふ」石濱夢茗庵
- 飯豊・朝日連峰植物小目録
- 飯豊・朝日連峰植物小目録（草本と木本に分けてある）
- 越後の高山植物目録（B4罫紙3枚半に花色別に飯豊・苗場・妙高の植物を記載）
- 佐竹義輔博士と伊藤至先生の飯豊山植物小目録 三部（印刷物で何かの抜粋か？）
- 玄先生の「飯豊の植物」専用の原稿用紙一枚
- 新潟鉄工所建設委員室のB4罫紙5枚に手書きされた植物目録（山名不明）
- 池上義信先生より玄先生に宛てた「飯豊山資料」

8月15日の深夜、再び呼吸困難に襲われ救急車で病院へ、集中治療室で機械による強制的呼吸、直ぐに呼吸は楽になる。86年と8ヶ月、我が心臓に弱りが来ても不思議ではない。「慢性心不全」の副作用で肺に水が溜まる、呼吸が出来なくなる。慙愧と悔恨に満ちた我が人生もついに終焉かと思うと空しさと寂しさ等々の寂寥感に襲われる。

後僅かな持ち時間で何が出来るか？あの世で玄さんや佐藤一栄さん、井口の旦那、山さん達と車座で酒を酌み交わすのも楽しいかもしれない。あの世へ行くのもそんなに悪い事ではないか？

スノートレッキングに行ってきました！

松井 潤次

今年は少雪となりましたが、2月24日に参加者27名（JAC会員9名）で、小千谷市西山山系において実施されました。

新潟の山歩き50選の「時水城山」から「丸山」へのプチ縦走は、快晴の空の下、展望を楽しみながらの雪山山行となりました。

なお、写真と山行記録等は、越後支部のHPをご覧ください。

新会員になって

丸山 健吾

私の山行は、昭和63年湯沢町にある職場に転勤となり2年間に在職した際、公民館主催の平標登山に退屈しのごで参加したのが最初で、その後休日には近くの飯士山、大源太山や巻機山、谷川岳などに登りました。

平成6年頃、深田久弥の日本百名山がテレビ放映されると中高年の登山ブームが到来、私も新潟市内の職場に戻ってからは百名山への山行に夢中になり、50座登頂を過ぎた頃、深田久弥終焉の地である茅ヶ岳に登り百座登頂を心に誓いました。平成22年7月、家内と百座目の幌尻岳の頂きに立つことが出来ました。

その後、しばらく山行は休み状態でしたが昨年夏、二度目の富士登山に行き再び山の魅力を思い出し、時々ホームページを見していた伝統ある日本山岳会への仲間入りを見せていただきました。これから新たな気持ちで山を楽しみたいと思います。皆様方のご指導の程、よろしくお願いいたします。

越後支部入会にあたり

飯沼 聡

私が登山をするきっかけとなったのは、高校卒業後、地元消防署に就職し、上司の小田幸男さんに登山に誘われたのが始まりです。その後、遠山實さんが会長の朝日山岳会にも入会させていただきました。いろいろと教えていただきました。現在は、岩広山岳会に所属しております。

平成4年に山形県で開催された「べにばな国体」の山岳競技に平田大六さんから誘いを受け、上司である小田幸男さんと私、同僚の3人で出場することになりました。そこで県山岳協会の皆様のご指導により、初出場ながらと登攀競技6位という成績を収めることができました。

今回、遠山實さんのご紹介により、歴史ある日本山岳会越後支部に入会させていただきました。地元の飯豊・朝日連峰、近くの里山を年に数回程度登るぐらいの活動で、大変恐縮しております。今後、皆様にいろいろと教わりながら活動の幅を広めていけたらと思っております。今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。

第1回平日トレッキングを

「長岡・東山」で開催しました

佐藤 レイ子

今年度から新たに、事業委員会の公募登山で「平日トレッキング」を始めることになりました。

春は花、秋は紅葉を楽しみ、歩程も3〜4時間と無理のない行程で、主に新潟県内の山で計画していく予定です。今までのようなハードな山行が無理という人や、これから山登りを始めたいという人には是非参加して欲しいと願っています。

今回は、第1回目を「長岡・東山」で行いました。「長岡・東山」は毎年、金メダリストの萩原健司さんを迎えて市民ハイキングが行われる所です。今回は火打沢コースを登り城山コースを下りました。

初めての試みに人数が集まるか不安でしたが、定員を超える申し込みがあり、幸先の良いスタートです。ですが、当日の天気は朝から雨。小山事業委員長連転のマイクロパスで林道を入れる所まで入ってもらったおかげで時間短縮です。総勢18名、雨具を着け、沢沿いになだらかに進むと昔は田んぼだったと思われる場所に伸びきったゴミが広がっていました。

登山道は間もなく急な登りでロープも下

がっています。両脇にカタクリ、オオバキスミレ、ヤマ（エゾ？）エンゴサクの群落が広がっていますが、雨で本来の見事さが見せられなく残念。でも、花の道は、八方台に続く道路に出るまで続いていました。



舗装された道路に出て10分歩くと八方台に到着です。雨宿りするところもなく、立つて昼食を取り、30分後出発です。下山コースはなだらかで歩き易く、3箇所ほど水場もあり、両脇を飾る花を見ながら、途中、オオバキスミレの群落の「栖吉城跡」にも登りました。「栖吉城跡」は、永正年間（今から約500年前）に古志長尾家の長尾孝景が築城し、最後は上杉家の会津転封によ

り廃城となった。上杉謙信の母である虎御前はこの城の城主であった長尾房景の娘である。今年は少雪だったので、だだっ広い本丸跡のカタクリは残念ながら終わってしまいました。

階段状になった道を下ると栖吉神社に出て登山の無事を感謝し、最後に長い石段を降りてフィナーレです。私達以外誰もいない静かな山で、この時期ならではの楽しみ(山菜)に皆さん夢中になった山行でした。

支部活動活性化に向けて

「YOUTH委員会」を新設

令和元年度

越後支部総会開催される

後藤 正弘

5月25日、阿賀野市・安田温泉「ホテルやすらぎ」で行われた令和元年度越後支部総会は、出席者46名・委任状108名(総会議決率84・6%)で、すべての議案が承認されました。

本年度は、支部役員の改選が行われ、支部三役と各委員長、副委員長及び専門委員が決定・承認されました。新役員の任務分担は、次の通りです。

また、理事会で橋本正巳氏を越後支部名誉会員に、遠藤家之進正和氏・阿部信一氏を顧問にそれぞれ推薦・承認され、総会で報告されました。

支部長 桐生 恒治(新・見附市)

副支部長 小山 一夫(新・新潟市)

副支部長 後藤 正弘(新・上越市)

副支部長 後藤 正弘(新・上越市)

事務局長 小泉 良夫(新・新潟市)

事務局長 小泉 良夫(新・新潟市)

総務委員長

○理事・YOUTH委員長

佐藤レイ子(新・新潟市)

理事・YOUTH副委員長

玉木大二朗(新・新潟市)

理事・事業副委員長

成海 修(再・新潟市)

○理事・集会委員長

立入 清(新・上越市)

理事・集会副委員長

諏訪 恵一(新・長岡市)

理事・集会副委員長

井 春文(新・南魚沼市)

理事・集会副委員長

遠山 實(新・村上市)

理事・集会副委員長

佐竹 信幸(新・会津若松市)

理事・集会副委員長

森沢 堅次(新・会津若松市)

○理事・広報委員長

佐久間雅義(再・新発田市)

理事・広報副委員長

鈴木 勝利(再・新潟市)

理事・広報副委員長

石山 政雄(再・胎内市)

○理事・自然保護委員長

鶴本 修一(再・糸魚川市)

理事・自然保護副委員長

松井 潤次(再・小千谷市)

○理事・県山協委員長

多田 政雄(再・新潟市)

監事 井口 光利(再・見附市)

監事 佐藤 博(新・新潟市)

顧問 遠藤家之進正和(新・新潟市)

顧問 阿部 信一(新・新潟市)

2 退会者

山田 勲(8256) 新潟市 3月

井出 秀雄(7159) 新潟市 4月

酒井 春一(8159) 新潟市 4月

松村 守(10938) 阿賀野市 4月

藤井 洋(7664) 新潟市 4月

涌井 鋼一(11477) 加茂市 5月

3 新入会員

飯沼 聡(16445) 村上市 2月

久保田千歳(A0211)

佐藤 陽子(A0215) 小千谷市 2月 準会員

佐藤 陽子(A0215) 小千谷市 2月 準会員

4 支部会員総数(5月31日現在)

178名



元号が「平成」から「令和」に改められ、新しい時代が始まりました。

令和時代最初の支部報発行にあたり、気持ち新たに、編集に臨んだところです。

紙面の都合上、一部の記事で割愛をしたところがありますが、ご容赦くださるようお願いいたします。

作成にあたり、ご協力をいただいた方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。(編集・佐藤 芳英)

事務局からのお知らせ

支部会員動向(2019年2月~5月)

1 物故会員

高野 誠一(7866) 長岡市 4月

坂野 雅之(16238) 村上市 5月